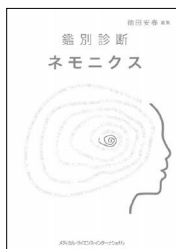


書評

[評者]

石山貴章

新潟大学地域医療教育センター教授(総合診療科)/総合診療科部長



鑑別診断ネモニクス

徳田安春 編

●A5 頁224 2017年3月

定価：本体3,800円+税

[ISBN978-4-89592-874-8]MEDSi刊

ネモニクス。英語では、Mnemonics となる。

初めて私が Mnemonics に触れたのは、今から15年ほど前。まだ USMLE の勉強をしていたときだ。Mnemonics という言葉にも、このとき初めて触れた。多分、TCA cycle の覚え方だったと思う。“Lindy is kinky, so she fornicates more often.”という文章である(自慢ではないが、覚えるべきその内容に関しては、全く覚えていない。また余談だが、当時妻が脇で私より早くこの文章を覚えては呟いていた。ただお互い、呪文のように唱えていただけだ。意味は、かなり sexual で過激である。興味のある方は、是非単語を調べてみてほしい)。

本書を紹介されタイトルを見た当初、残念ながらこの二つが結びつかなかった。中身を読み始め、そこで初めて「あっ!!」という感じである。本当に久しぶりに、この言葉に触れた気がする。

本書はこの Mnemonics, いやネモニクスを用いて「医学知識の記憶の仕方」に強いこだわりを持って作られている、これまでに類のないタイプの教科書である。英語版と日本語版の両方が作り込まれ、それが比較的

若手の先生方(かと思われる、少なくとも私よりは……)によって作られているのも、素晴らしい。監修は、若手に絶大の人気を誇る徳田安春先生であり、内容の方は折り紙つきである。第一線で活躍する、しかも「自分は記憶が苦手で」と自認する優秀な先生方の記憶方法、および彼らが練りに練ったネモニクスは実践的であり、必ず実戦で役に立つはずである。

それぞれの項目には1ページを割いた形でのまとめがあり、これをまずしっかりと読み、できる限り頭に入れようとトライした上で「ネモニクスでくすっと笑う」というのが、本書の正しい使い方かと勝手に考えている(実際、このまとめの内容も素晴らしい)。

日本語版と英語版の二種類のネモニクスが用意されている。個人的には、英語版が覚えやすいが、個人差もあるであろう。ぜひお手元において、ご自分の口と頭とで試してみていただきたい。なお、なかには「普通に覚えた方が覚えやすいんじゃないか、これ？」といったネモニクスもあるが(!)、これもご愛嬌である。

それ(ご愛嬌)も含めて、くすっと笑いながら勉強できる良書です。